

第8回「三鷹市立第二小学校・井口小学校・第二中学校学校運営協議会」及び  
第8回「にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会」＜会議録要旨＞

平成20年1月15日（火）  
午後6時30分～9時15分  
三鷹市立第二中学校視聴覚室

出席者 委員23名（欠席0名）

<会議要旨> この会議録は要旨であり、すべての発言が記載されているものではありません。

<進行 井口小副校長>

（1）会長挨拶

社説（朝日新聞）プリント資料。学力危機の問題。学力低下は評価のあり方に関わる。人を育てる評価がある。（参考文献）評価の見直しを考える必要もあるのではないかと思う。

残り少ないが、まとめをきちんとしていきたい。

（2）学園長挨拶

今年もよろしくお願いします。2年前のフィンランドの訪問では、地域と学校が一体化している小中一貫校を視察した。その中で一番大きいのは、教師が生徒に接する姿勢。一人の人格者として子どもを認めていくので、子どもたちも考え方がしっかりしている。学園も評価をしていく大詰めである。保護者からも評価の疑問が寄せられる。保護者も含め評価についての学習をしていければよいと思う。

<進行 副会長>

（3）協議会

1. 部会からの報告

地域教育部会（資料1）

人材バンクは検討中。

コーディネート部会

・サポート部（資料2）

1月30日のサポートも含め連絡。

・キャリア教育部（資料4）

職場訪問の事業所確認。

評価部会

（資料5-2）アンケートについて小学校は個人面談中に配布し、担任からアピール。中学校は面談中に回収 など工夫してもらった。集計作業は12月18日に行った。

昨年度と同様、S Q Sのデータから必要とする部分を取り出し、グラフ化、全体の傾向を把握した。散布図の右下にどんな項目が来ているのかがわかる。昨年度と比較して、重要度と実現度の比較をし、変化の割合を出している。さらに学校別にP5より載っている。各学校ごと、実現度はアップしている。地域による学校評価はP14～。各校の取り組みについては、「わからない」が多い。P18～児童・生徒による学校評価。P22～昨年度との比較を示している。母集団が大きいので、0.1 というのがどのくらい重要なのかはわからないが、1%は多いと考えるか。教員による学校評価はP28～のある。

（資料5-2）保護者のアンケート分析について。回収率は配布・回収を工夫してもらったので、

全体としてアップしている。にしみたか学園の取組について。どれも数値が上がっている。昨年度、実現度を上げる努力が求められると報告したのも、改善が見られる。「わからない」の回答も減少した。情報の不十分さが原因として考えられるが、イントラネットでの情報共有は今後大いに活用されていくことが望まれる。「生き方・進路指導」はわかりにくいという声も多く、キャリア教育通信を発行してもらい、今後大いに期待される。サマースクールなどの補充学習についての保護者、児童・生徒、教員の結果が違う傾向を示し、認識の違いが懸念される。

各校の取組は資料の通り。昨年度と傾向は同様。二小・井口小の傾向は変わらない。井口小は「施設の安全性確保」は最優先の項目に位置している。原因を追究し、優先課題とする必要がある。二中は昨年度の最優先にあった「授業がわかりやすい」については、3校研究会等の成果から実現度が上昇。「進路に関する指導・情報提供」については、進学指導＝進路指導という考え方をもとに回答されているのではないかと。

委員

この後、どのように生かしていくのか。

委員

今後編成される来年度教育課程に生かしていく。

委員

小学校の9の項目は、「生き方」という言葉を入れていった方がよいのではないかと。

委員

学園の取組では「生き方・進路指導」と入れているが、質問項目についても、今後検討したい。

委員

研究も来年は「生き方」が中心になるので、その言葉を入れて質問したい。

委員

小中をつなげた生き方指導を考えたい。

委員

「わからない」の%をしっかりと見て、とらえていった方がよい。

委員

回収率を上げる工夫をしていて、まだ50%であるとはどう考えるのか。保護者の関心度の問題もあるのではないかとと思うが、どうか。

委員

統計学の先生からも、70%を越えなければ信憑性がないといわれた。質問項目の並べ方なども考えた。ただ、この割合でも全体の傾向はわかるのではないかと。

委員

学校教育の保護者の認識・位置づけを高める必要がある。やってもらわなければならないものと位置づけることが必要ではないかと。

委員

CS委員として銘打っていくのであれば、それぐらいの位置づけで徹底していく方がよい。

二小校長

保護者の中には「なぜ強制するのか」という意識の方もいる。その辺の意識から変えていかなければならない。

委員

学校評価の後、文科省のアンケートがあったが、回収率は70%を超えた。封筒に入り、家庭数にするのもよいか。

二中校長

他校でも、封筒に入れているところは回収率は高い。アンケートという名称でなく、学校評価として義務づけることも考えていくことも考える。言葉ももう少しわかりやすいものを。

委員

アンケート結果は次年度の改善に具体的に反映されるように示すことが必要。回収までの日数も短い方が集まりやすいのでは。

委員

フィードバックの方法も大事。今後検討していきたい。保護者への質問も多くなると答えにくい。

児童生徒のアンケート分析について。同年比較も大事だが、経年比較も見たい。まだ2年なので、今後も蓄積していきたい。学園の取組については概ね好意的に受けとめている。中3の肯定評価が上がっているので、体験が増えると連携を実感できると考える。

委員

サマースクールの評価が低いのは、夏休みに学校へ来ることへの不満と考えられないか。この質問については子どもたちがどうとらえたのか。成果としてとらえていないのでは。

委員

サマースクールの対象者が少ないので、対象者でない子どもがどう評価したのかは疑問。

委員

サマースクールについては、子どもたちへの質問の仕方を今後検討していく。

委員

地域に関しては「わからない」があっても仕方がない。まずはできるだけアンケートを広めていくことが指名。先生と地域をつなぐ働きをしていきたい。

委員

地域に関しては、どのような方に配布するのも含めて検討事項。

委員

アンケートのことだけで話すよりもまずは公開授業などに足を向けてもらうことが必要。

委員

先生方の分析はまた別途示されると思う。

### 3. 協議

会長より

「本委員会のこれまでの活動と今後の対策について」(資料6-1)CS委員会の任務として、学園の運営に関する事項について、各部もしくは全体会で意見をまとめてほしい。スケジュールは資料の通り。来年度に向けての対策又は提言は、2月に行う。

(資料6-2)自己評価は2月にまとめておきたい。

(資料6-3)学力テストの結果から。数学リテラシー(日本)下位は変わらないが、上位(レベル6)が減っている。(資料:フィンランド・韓国との比較)

(資料6-3補足)全国学力テストの都の結果と学園の結果分析。中学の下位が多いのは問題。あきらめて投げている生徒に対してどのように対処するか。保護者が投げない。学校もどのように学力を保障するか考えていく。中1からどのようにどのように手当をするのか。

委員

2月の各校務分掌担当者からの報告とあるが、学校側と協議するのか。

会長

それまでに必要な資料は学校側から集め、話し合っておく。

スケジュールの2月 第4条(1)才は、地域教育部会に訂正。

委員

アンケートにも記入してもらうのもよいのではないか。

委員

サポート隊で入っていると、気付くこともある。地域教育部に限らず、意見を挙げていくとよい。

委員

年度末にすべての評価をしていくのも無理がある。時期をずらして報告が必要なものもあると思う。

委員

1月18日にアンケートを回収する。

二小副校長

必要に応じて各校の担当者から資料を求めるといっても、この時期の校内事情（研究発表・教育課程の編成提出等）を考慮していただきたい。資料はすぐには出せないこともある。すべてではなく、ポイントを絞っていただきたい。

委員

必要なものだけ絞ってよい。CS委員としての責任も果たしたい。今年度は勉強していくという気持ちでよいのではないか。

会長

2月、3月に向けて、来年度への提言をしっかりとやっていきたい。

学園長

母体は三校の学園運営協議会である。子どもたちにどのような力を付け、どのように進めていくのか、具体的なアクションにつながるような話し合いをしていくべき。（この時期に限らず）負担を軽くするためには、報告書より学校側へのヒヤリングを進めていってほしい。

委員

CS委員会としてどんな資料が必要なのか、学校がどんな資料を作っているのかお互いにわからない。カレンダー的に組み入れていくようにしたらよい。

#### 4．学園情報

井口小校長

1月30日に研究発表会がある。小学校は午前、中学校は午後公開授業。協議会では、CS委員会の発表もあり、ぜひ参加していただきたい。

#### 5．その他

井口小副校長

（資料7-1、2）学習状況は、Cの観点が半数以上を占めている児童を挙げている。

二中副校長

（資料7-3）2学期期末考査の得点分布で学習状況を示した。不登校生徒は、相談学級に通級も含めた。

二小副校長

研究発表会について。計画通り進んでいるよろしく。シンポジウムについては本日計画を決めて進める。PTA、世話人会、サポート隊等も依頼済み。100人以上の方が動いてくださる。リーフレットも委員の協力があり、素晴らしいものができあがった。反省会はスウィングホールで開くので参加ください。

委員

参加申込者数はどのくらいか。

二小副校長

現在は100人ぐらい。これから増える。

委員

地域教育部には何も依頼がないが。

委員

地域の昼食場所紹介についてこれから相談したい。